

学校法人岩崎学園 横浜リハビリテーション専門学校  
2021年度 第1回学校関係者評価委員会

**日 時** 2021年4月16日（金）16:30~17:30

**委 員** 品濃町内会関係者様（欠席）、西横浜国際病院関係者様、東戸塚記念病院関係者様、  
亀田森の里病院関係者様、学校長、参与、教務部部长、理学療法学科長、作業療法学科長、  
ほか教職員6名

**内 容**

**I. 校長挨拶**

今年度、第1回の学校関係者評価委員会にご出席いただきまして、ありがとうございます。この1年間はコロナ禍で大変教育現場が混乱しました。対面授業ができず、特に臨床実習に関しては全くできない状況でした。しかし、岩崎学園は元々Web講義に力を入れていて、色んなことを準備してきたので、Web講義と対面授業でむしろ教育の効果が上がったのではないかと思います。今後も、同じような状況は続くと思いますが、評価委員の先生方には色々ご意見をいただいて効果の上がる教育を目指して、教職員一丸となってやっていければと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

**II. 自己評価表（全て資料1に基づき報告）**

資料1に、2020年度の後期達成状況と2021年度前期に取り組むべき課題等について示した。

**1. 教育理念・目標（瀬古教務部部长）**

資料1参照

- ・新指定規則は今年で2年目。1・2年生が新指定規則の該当学年である。

**2. 学校運営（瀬古教務部部长）**

資料1参照

- ・LMSについては、教職員・学生ともに不慣れなところがあるためLMSを使用するスキルを改善していきたい。

**3. 教育活動**

【シラバス・カリキュラム（中村）】

資料1参照

【教育力向上（田中）】

資料1参照

- ・基礎力リサーチを実施することで、それぞれの学生の傾向や対策について教員間で共有。

【臨床実習（瀬戸山）】

資料1参照

【情報公開（中村）】

資料1参照

#### 4. 教育成果

【資格・卒業研究（田中）】

資料1参照

- ・卒業研究発表会については、別途ご案内予定。

【国家試験・卒業試験（島田）】

資料1参照

- ・国家試験結果は、PT・OTともに全国平均を上回ることができた。

【臨床実習（中村・水島）】

資料1参照

理学療法学科（中村）

- ・1~3年生まで全て学内実習となった。
- ・先日、協会から出された「臨床実習の手引き 第6版」を基に作成したソーシャルスキルのルーブリックを1・3年生に導入。それを用いて次に繋げていきたい。

作業療法学科（水島）

- ・1~3年生まで全て学内実習となった。

【留年・退学者防止（中村・水島）】

資料1参照

理学療法学科（中村）

作業療法学科（水島）

- ・強化組の一部に要注意人物や心身の不調による退学者も数名でている。
- ・iポータルを利用し、学びあい教えあいを加味しながら実施していきたい。

#### 5. 学生支援

【社会性（田中）】

資料1参照

- ・4月、5月に基礎力リサーチにて学習状況実態調査を実施予定。

【行事（机）】

資料1参照

- ・卒業式は、各クラスで実施。
- ・卒業生自身が納得のいく卒業式であったかというところは難しい。次年度は、卒業生が楽しめるというところも改めて考えてやっていきたい。

#### 【個別指導（中村）】

資料 1 参照

#### 【健康管理・防犯、就職支援、災害対策、経済援助・活動援助（宮野）】

資料 1 参照

- ・ 給付型の高等教育修学支援新制度は、今後も周知に努め、申請もれがないようにしたい。
- ・ 保護者への情報提供については、新たにインターネット上から確認できるように整備をした。

### 6. 教育環境

#### 【教室（宮野）】

資料 1 参照

#### 【図書、設備・備品（武田）】

資料 1 参照

- ・ 学生が LMS を通して簡単に検索ができるように、準備予定。

### 7. 学生募集（宮野）

資料 1 参照

### 8. 社会貢献・地域貢献（宮野）

資料 1 参照

### 9. 法令等の遵守（瀬古教務部部長）

資料 1 参照

## IV. 質問・意見

藤井先生：前年度は、COVID-19 の影響が強くなり、実習ができなかったりオンライン授業になったりと色々のご苦勞があったかと思います。今年度もまだまだ COVID-19 の影響は出てくるかと思いますが、実習ができればいいと感じています。OT 学科の実習の中で、“デジタルトランスフォーメーション” の意味を具体的に教えていただきたいです。それと、オンライン授業による成績や学力は実際にどうなっているのかを質問させていただければと思いますので、よろしくお願ひします。

水島学科長：OT 学科の DX 化についてですが、現在学内実習の方で Google ドキュメントや Google スプレッドシートを使ってオンライン上での MTDL P のシートのやりとりをしています。そのシートは学内の教員と学生だけではなく、臨床実習指導者の方も閲覧や指導ができるように変更となっています。今までデイリーノートが臨床実習指導者と学生間で共有されていたと思いますが、学校側も共有して三者で臨床実習を作りあげていくという形を今年度から少しずつ取り組んでいこうと考えていますので、出来る範囲でご協力をよろしくお願ひします。

中村学科長：オンライン授業の影響として、前期の再試数が後期より上回りました。これは、逆に後期は対面が増えたのと、特に 1 年生は入学してすぐオンライン授業がスタートだったため、環境に適応できなかったことが影響したという印象があります。ただ、座学でできる授業に関しては、やり方次第で

はオンラインによる効果を上げられるのかなと感じています。しかし、トータルの思考の構築や臨床的な部分で推論を組み立てるということに対してどう影響していくのかは、今後注視していきたいと思えます。

戸羽先生：オンラインや学内実習に全て変更しているということがありましたので、当院で一番危惧していたのが思考や推論、予測についてでした。新人指導教育項目には、推論をあえて入れ込んでみました。たまたまそれを考えてくれたのが、横リハの卒業生で「ぜひ、やりましょう」と言ってくれたので、トライアルでやっています。おそらく今後もオンライン、学内実習の短期・時間の短縮が求められると思うので、確認させていただいた再試率等の情報も活かしながら新人教育に盛り込んでいけたらいいのかなと思いました。ありがとうございます。

重田先生：アンケートの回答や要望から、何か授業で変更や対応をしたことがあれば教えていただきたいです。また、感染対策が非常に重要な時代だと思えますが、会食や休み時間など、授業以外での感染対策は十分にはできない部分もあると思うので、学生に対して新たにお願いしたルールや規則などがあれば教えていただければと思います。よろしくお願ひします。

田中副学科長：授業アンケートに関しては、自由記入欄に学生からの要望は少なく、全体的に良いことが書かれる傾向です。中には、「板書が少し見づらい」、「話が少し早い」等授業を運営していく中ですぐに修正ができることを書いてくる学生もいるので、それは各教員にフィードバックをし、改善をしています。ただ、以前に比べて、授業を分析して意見を言うというより、あるものを受け入れる学生が増えている印象があるため、教員側で、注意深く細かな意見を吸い上げていく必要があると考えています。

瀬古教務部部長：手指衛生や体調管理、換気をする、三密を避けるという基本的な感染症対策を学生に徹底しています。ただ、今年度4月から授業が開始するとともに、変異株も増えてきており、実技授業については、教員と学生はフェイスシールドを使用しながら行っています。それ以外は、基本的な感染対策を再度徹底するため、全学生に一斉メールをし周知しています。

水島学科長：加えて、本校は健康アプリというアプリを導入しています。学生が毎日登校する前に検温したものをアプリで返信。まだ、学生に徹底されていないところもあるので、再度徹底するよう指導しています。

林参与：60歳を迎え、定年となりました。副校長から参与ということで、本部に所属になりました。長い間、本校の運営にご協力いただきましてありがとうございました。おかげ様で無事に職を全うすることができたかなと考えています。今後、瀬古部長が苦勞するかと思えますが、支援していただければと思います。どうもありがとうございました。

## V. 次回の会議について

第2回の会議開催についてですが、2021年10月末に開催する方向で調整させていただきたいと思えます。できるだけ早めにご案内させていただきますので、よろしくお願ひいたします。

以上

作成：植竹

【欠席者ご意見】

[松田委員]

- ・ 自己評価表を確認し、全体的にさまざまな工夫・改善をされよりよい学校運営をされていると評価しています。
- ・ 学生数に対する退学者数が多いように感じるが、専門学校という性格上、仕方ないのかもしれない。
- ・ 学費支援を受けている学生も多く、学生が勉学に励む環境が整っているのはよいことだと思います。
- ・ 学校案内も非常に読みやすく、受験生も安心して進学を志望できると考えます。地域に学生が多いと活気あふれる街となり、大変心強く思います。町内会として今後も協力してまいりたく存じます。